

# 「民意は基地も安倍改憲も NO！～ 憲法と沖縄・横田と日米地位協定」

小森 陽一

## I 「日米地位協定」の現状と課題

- 1) 朝鮮戦争下における旧日米安保体制下での「日米地位協定」と再軍備
- 2) 日米合同委員会というブラックボックス
- 3) 補足協定等での対処療法と不十分な実効性
- 4) 国内法の適用除外による数々の主権侵害
- 5) 日米地位協定についての国民的な議論の喚起

## II 自民党改憲策動と第4次安倍晋三政権の現状

- 1) 所信表明演説における憲法違反の改憲強制
- 2) 「安保法制」としての11の法律を背負った「自衛隊」
- 3) 「必要な自衛の措置をとる」「そのための実力組織」
- 4) 「自衛隊」の三文字を書き込むことでの9条2項の無効化
- 5) 憲法調査会での改憲策動を阻止する国会内外の運動強化

## III 市民と野党の共闘の現段階

- 1) 「戦争させない・九条壊すな！総がかり行動実行委員会」の結成
- 2) 2015年の「安保法制」に反対する大運動
- 3) 市民と野党の共同による2016年の参院選
- 4) 2007年参院選で第一次安倍政権を打倒した教訓
- 5) 2017年「国難突破解散」のときの教訓を生かすこと

## IV 安倍改憲 NO！を実現する市民と野党の運動

- 1) すべての参院選一人区で市民と野党の統一候補を
- 2) 「安倍9条改憲 NO！3000万人署名」で政権打倒を
- 3) 「3000万人署名」はそれぞれの地域で有権者の四人に一人
- 4) これまでの運動を量的にも質的にも高めること
- 5) 市民の力で国政を変革しうる野党共闘の内実形成を